

【海外出張】

世界銀行 Law, Justice and Development Week 2017に参加して

国際協力部教官

福岡文恵

国際協力部教官

大西宏道

第1 はじめに

2017年11月6日から同月10日まで、アメリカ合衆国のワシントン D.C.において、世界銀行（World Bank Group）が主催するシンポジウム Law, Justice and Development Week（LJD Week）2017が開催され、法務省法務総合研究所国際協力部から、福岡文恵教官及び大西宏道教官が参加した。

LJD Week は、世界銀行が、開発における法的側面に関わる170を超えるパートナーの国際的な情報交換のプラットフォームである Global Forum on Law, Justice and Development（GFLJD）と連携して、法及び司法を扱う開発に関する専門家のコミュニティに呼びかけ、年1回開催しているシンポジウムである。法務省法務総合研究所は、GFLJDの一員であり、当部は2013年からLJD Weekに参加しており、今回で5回目の参加となる。

今回のLJD Week 2017のメインテーマは、Gender, Law and Developmentであり、68のセッションに185のスピーカーが参加し、約1,200の参加者が集まった。当部は、1日目から3日目まで参加し、当部の活動に関連するセッションを聴講するとともに、名古屋大学、独立行政法人国際協力機構（JICA）と共同でセッションを実施した。以下、当部が参加した部分における概要を紹介したい。なお、本稿において、意見にわたる部分は私見に過ぎない。

第2 当部職員の実施したセッションについて

名古屋大学、JICA及び当部において共同提案し、名古屋大学の伊藤弘子特任准教授をモデレーター、JICAの田中由美子シニアジェンダーアドバイザー及び竹内麻衣子主任調査役並びに当部の大西教官をスピーカーとして、”Harmonizing Traditional Values with Modern Institutional Development; How Promotion of Gender Equality is Possible with Assuring Property Rights and Dispute Resolution – Lessons from Japanese Cooperation Projects in Asia and Africa.”（「近代的制度開発及び伝統的価値観の調和：財産権及び紛争解決におけるジェンダー平等の促進－アジア及びアフリカにおける日本の国際協力プロジェクトからの教訓」）と題し、ネパール、タンザニア及び東ティモールを題材として、法及び開発におけるジェンダー平等の関係及び実態に関し、法律による近代化の推進と慣習により守られる伝統との調和を保ちながら法制度を整備することの重要性等について発表を行った。

具体的には、JICAの竹内氏から、ネパールについて、我が国による民法の起草支援

において、地域のカウンターパートと協力して様々なステークホルダーと議論を行い、伝統的な概念及び法制度の近代化を両立させた経験に関する発表がされた。また、JICAの田中氏からは、タンザニアについて、我が国の支援によって生み出されたキリマンジャロ地方における農地の社会的及びジェンダー的な影響に関し、水田の再配分において女性の有する灌漑面積がどのように変化したか、女性の土地に対する地位及び価値観がどのように変化したか等の女性の財産権及びエンパワーメントの変化を示した調査結果の発表がされた。

当部の大西教官からは、東ティモールについて、地方において伝統的な紛争解決制度が重要視されている現状、その中のジェンダー平等の観点からの課題等を紹介し、そのような状況において、我が国が、東ティモール対して調停法に関する法整備支援をするに当たって、考慮している点等の発表がされた。その発表を通じて、特に、慣習と密接に関係する法制度の整備に当たって近代化の推進及び伝統の尊重の調和を図ることが重要であること、その支援においては、一定の価値観を押し付けるのではなく、現地の実情を綿密に調査し、関係者との協議を実施した上で、国際基準も踏まえ、法的考え方の選択肢を提供して、対象国の立案担当者の能力向上を図ることにより、対象国による主体的な立案を促すことが重要であること等を発言した。当部からの発表の後、東ティモール司法省の司法制度立案担当でジェンダー問題担当でもある法律諮問立法局長のネリンホ・ヴィタル (Nelinho Vital) 氏がビデオメッセージにより、東ティモールとして、近代的な調停制度の整備を図っているものの、伝統的な紛争解決制度を近代的な法制度にどのように取り込むべきか難しい現状がある旨を発表した。

聴衆は、世界銀行等の国際機関、各国の大学、NGO関係者等であり、熱心に聴講していた上、東ティモールにおける司法改革の内容等について質問が出るなど、当部の発表に対する関心の高さがみられた。



【名古屋大学、JICA及び当部のメンバー】

第3 聴講した主なセッションの概要について

1 Plenary Session

世界銀行上級副総裁兼グループジェネラルカウンセルのサンディー・オコロ (Sandie Okoro) 氏の挨拶で始まり、米州機構 (Organization of American States) マルチディメンショナルセキュリティ長官でグアテマラの司法長官でもあるクラウディア・パズ (Claudia Paz y Paz) 氏が、ラテンアメリカにおける女性に対する暴力の現状について基調講演を行った。

パズ氏は、暴力を受けた女性が司法による救済を求める上での問題点、また、女性に対する暴力を減らし、犯罪を未然に防ぐための手段として、何が機能して何が機能していないのかを見極めるとともに、事後的な司法救済手段を整備することが必要であること等を述べた。

最後に、世界銀行総裁のキム・ジムヨン (Jim Yong Kim) 氏は、ジェンダーに基づく暴力の防止及び平等の推進の重要性及び緊急性を強調し、法律及び正義が開発努力のあらゆる側面に浸透していることを確認した。

2 "Why Economic Empowerment for All Requires Equal Legal Capacity and Nationality Rights for Women" (「なぜ経済的エンパワーメントは女性の法的能力の平等及び国籍を必要とするのか」)

UNHCR, UN Women, NGO等の職員によるセッションであり、子ども及び外国人の配偶者に国籍を与える権利を含む国籍に関する女性の法的能力を制限している国が世界に25か国あること、不公正な国籍法は行動の自由すら制限されるなど様々な影響が生じること等の現状を説明するとともに、国籍法におけるジェンダー差別を解消するための国際行動を推進する国籍平等のためのグローバルキャンペーン、中東及び北アフリカにおける平等を追求する女性の市民活動に対する支援等のケーススタディを通じて、どのようにすれば法的改革が達成できるかについて議論された。

3 "Women's Right to Land and Property : Legal Basis for Empowerment and Business" (「土地及び財産に対する女性の権利：エンパワーメント及びビジネスのための法的基盤」)

世界銀行の職員らによるセッションであり、発展途上国における土地及び財産をめぐる女性の権利の現状及び取組に関する発表及び議論がされた。女性が、法的に、金融機関の口座を持つことができない国、財産を所有することができない国等が紹介された上、女性の財産権に対する法的認知が高まることが女性のエンパワーメント及び解放に積極的な影響を与えること等が主張された。世界銀行からは、財産権及び女性のエンパワーメントとの相互依存性をより深く理解するために、女性、ビジネス及び法律の統合的なプロジェクトに取り組んでいる旨の紹介があり、公証人国際連合 (International Union of Notaries) からは、公的なかたちでジェンダー平等を規律するドゥ・ジャール法の実施及び普及が重要である旨の意見があった。

4 "Women's Access to Justice in Fragile, Conflict and Crisis Situations: Backlash, Progress and Ways Forward – A Focus on Gender-Based Violence" (「脆弱、紛争、危機の状況における

女性の司法へのアクセス：バックラッシュ、進歩と今後の方向性 - ジェンダーに基づく暴力に焦点を当てて」)

国際女性判事連盟 (International Association of Women Judges), UN Women 及び世界銀行の職員によるセッションであり、脆弱な又は紛争中の危機的状況の国における女性に対する正義を確保することが重要でありながら、これらの場面における女性の司法へのアクセスを確保することがあえて避けられてきた現実があること、特に、ジェンダーに基づく暴力に関する女性の司法へのアクセスにおいて、この問題が顕著に表れていること等について議論がされた。

5 ”Education, Law, and Land Ownership” (「教育, 法律, 土地所有権」)

国際通貨基金 (IMF) の職員が、貧困削減戦略の一環として無料の教育制度を導入したケニア、タンザニア及びウガンダにおける女性の土地及び住宅所有の割合を比較し、教育が女性の土地及び住宅所有を高めることにつながることを発表した。



【Plenary Sessionの様子】

第4 おわりに

法整備支援を実施するに当たっては、法と開発の分野における国際的潮流を把握する必要がある。今回のLJD Week 2017のメインテーマはジェンダーであって、当部はジェンダーに焦点を当てて活動してはいないが、ジェンダー問題の主流化が言われる国際場裡で活動を実施するに当たって、ジェンダー問題を含む国際的潮流を把握することは重要である。このため、今回のLJD Week 2017に参加し、当部の活動に関係し得る各セッションを聴講することによって、法と開発におけるジェンダー問題、それに対する世界銀行を始めとする各国際機関、諸外国の取組等について、知見を得ることができたことは有意義であった。また、他の支援関係機関の考え方等を把握すること、支援関係者と知り合うこと等は、今後の活動を円滑かつ効果的に推進するに当たって重要である。

複数のセッションにおいて、支援に当たっては、法制度の整備のみならず、機関強化、人材育成、運用能力向上、啓発活動等、あらゆる観点から統合的に取り組む必要がある旨の主張が見られた。これは、最近の開発援助の場において、よく見られる議論であるもの

の、いまだ、画一化された成文法の整備により一律に近代化を推し進めようとしている国際機関及び欧米諸国が存在する中、対象国の実情、主体性等を尊重しながら、対話を通じて、法整備、人材育成、運用支援等を統合的に進めていく我が国の法整備支援活動の意義を改めて見出すことができた。

また、世界銀行は、開発分野における代表的な国際機関であり、多数の関係者が参加したシンポジウムであるにもかかわらず、アジアからのスピーカーによるセッションは当部が実施したもののみであり、開発分野におけるアジアの存在感は依然として大きくないと感じた。今後は国際的なシンポジウム、会議等にも積極的に参加するとともに、各国際機関及び諸外国との連携を深め、相互に活動を紹介し合うことによって、アジアの代表として我が国の活動をより広く世界に周知していくことが必要であると感じた。

最後に、共にセッションを実施していただいた名古屋大学の伊藤弘子准教授並びにJICAの田中由美子シニアジェンダーアドバイザー及び竹内麻衣子主任調査役、世界銀行との事前調整をしていただいたJICAの磯井美葉国際協力専門員、セッションの内容について助言及び調整をしていただいた名古屋大学のコン・テイリ准教授に感謝申し上げたい。

NOVEMBER 6-10 | WASHINGTON DC

LAW, JUSTICE AND DEVELOPMENT WEEK 2017
GENDER, LAW AND DEVELOPMENT

LJD LAW, JUSTICE and DEVELOPMENT

Gender Issues in Dispute Resolution in Timor-Leste and Legal Technical Assistance of Japan

Hiromichi Onishi

LJD LAW, JUSTICE and DEVELOPMENT

LJD LAW, JUSTICE and DEVELOPMENT

Gender Issues in Dispute Resolution in Timor-Leste and Legal Technical Assistance of Japan

- Overview of Society in Timor-Leste
- Rural Areas in Timor-Leste
- Status of Women in Timor-Leste
- Situation of Justice System in Timor-Leste
- Traditional Dispute Resolution System in Timor-Leste
- Legal Technical Assistance of Japan to Timor-Leste
- My Comments
- Comments from MOJ of Timor-Leste

<http://www.worldbank.org/ljdweek2017> 3

LJD LAW, JUSTICE and DEVELOPMENT

Overview of Society in Timor-Leste

<http://www.worldbank.org/ljdweek2017> 4

LJD LAW, JUSTICE and DEVELOPMENT

Overview of Society in Timor-Leste

- Beach near Dili
- Local market in Dili

<http://www.worldbank.org/ljdweek2017> 5

LJD LAW, JUSTICE and DEVELOPMENT

Overview of Society in Timor-Leste

- Mt. Ramelau
- Virgin Maria at Mt. Ramelau

<http://www.worldbank.org/ljdweek2017> 6

LJD LAW JUSTICE and DEVELOPMENT WORLD BANK GROUP

Overview of Society in Timor-Leste

- Election campaign
- Center of Dili

<http://www.worldbank.org/ljd/week2017> 7

LJD LAW JUSTICE and DEVELOPMENT WORLD BANK GROUP

Rural areas in Timor-Leste

- Village
- Traditional house

<http://www.worldbank.org/ljd/week2017> 8

LJD LAW JUSTICE and DEVELOPMENT WORLD BANK GROUP

Rural areas in Timor-Leste

- Village leader (Chef de Suco)
- Sacred house (Uma Lulik)

<http://www.worldbank.org/ljd/week2017> 9

LJD LAW JUSTICE and DEVELOPMENT WORLD BANK GROUP

Status of Women in Timor-Leste

- Girls in Dili
- Girls in Dili

<http://www.worldbank.org/ljd/week2017> 10

LJD LAW JUSTICE and DEVELOPMENT WORLD BANK GROUP

Status of Women in Timor-Leste

- Woman and girls in a village
- Woman in a village

<http://www.worldbank.org/ljd/week2017> 11

LJD LAW JUSTICE and DEVELOPMENT WORLD BANK GROUP

Situation of Justice System in Timor-Leste

- Ministry of Justice
- Court room in the Dili District Court

<http://www.worldbank.org/ljd/week2017> 12

LJD LAW JUSTICE and DEVELOPMENT WORLD BANK GROUP

Situation of Justice System in Timor-Leste


- Only four district courts in 13 municipalities
- One court of appeal instead of a supreme court
- 34 judges nationwide
- Court proceedings in Portuguese

<http://www.worldbank.org/ijdweek2017> 33

LJD LAW JUSTICE and DEVELOPMENT WORLD BANK GROUP

Situation of Justice System in Timor-Leste

- Justice Sector Strategic Plan (2011-2030)
- Thematic Area 5: Access to justice Goals:
 - 11. Every 5 years (2015, 2020, 2025, 2030), there will be significant improvement in the current situation of the justice sector, in terms of availability of justice services and in the awareness of and the public confidence in the justice system.
 - 12. Within 5 years (2015), crime prevention policies and actions will be implemented in the justice sector.
 - 13. Within 5 years (2015), the principle of non-discrimination, sensitivity to gender issues and the protection of vulnerable groups and human rights will be guaranteed in the justice sector.
 - 14. Within 3 to 5 years (2012/2015), customary law and community justice mechanisms will be regulated, and the systematic monitoring of their conformity to human rights will be implemented.



<http://www.worldbank.org/ijdweek2017> 34

LJD LAW JUSTICE and DEVELOPMENT WORLD BANK GROUP

Situation of Justice System in Timor-Leste

- Developing justice system by mainly MOJ
- Public defender system
- Mobile court
- Access to justice clinics
- Reform of Legal Training Center
- Examination of mediation law and law concerning traditional justice

<http://www.worldbank.org/ijdweek2017> 35

LJD LAW JUSTICE and DEVELOPMENT WORLD BANK GROUP

Traditional Dispute Resolution System in Timor-Leste

- Constitution
 - Section 2 (Sovereignty and constitutionality)
 - 4. The State shall recognise and value the norms and customs of Timor-Leste that are not contrary to the Constitution and to any legislation dealing specifically with customary law.

<http://www.worldbank.org/ijdweek2017> 36

LJD LAW JUSTICE and DEVELOPMENT WORLD BANK GROUP

Traditional Dispute Resolution System in Timor-Leste



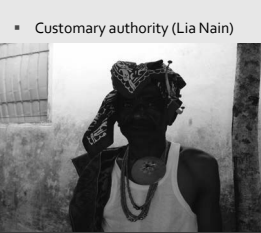
- Primary customary law (Lisan, Adat) in Timor-Leste
 - Traditional norms (Tara Bandu)
 - Traditional dispute resolution system (Nahe Biti)
 - Family mutual aid norms (Feto San Uma Mane)

<http://www.worldbank.org/ijdweek2017> 37

LJD LAW JUSTICE and DEVELOPMENT WORLD BANK GROUP

Traditional Dispute Resolution System in Timor-Leste

- Customary authority (Lia Nain)

- Sacred house (Uma Lulik)
- Traditional norm (Tara Bandu)

<http://www.worldbank.org/ijdweek2017> 38

LJD LAW JUSTICE and DEVELOPMENT WORLD BANK GROUP

Traditional Dispute Resolution System in Timor-Leste

- ◆ Timor-Leste Law & Justice Survey 2013 by Asia Foundation
- Satisfaction level with traditional justice - 85% in 2008 and 94% in 2013.
- Percentage of people against making statements by women in traditional justice - 58% in 2008, 39% in 2013.

<http://www.worldbank.org/ljd/week2017> 19

LJD LAW JUSTICE and DEVELOPMENT WORLD BANK GROUP

Traditional Dispute Resolution System in Timor-Leste

- Reasons for use of traditional justice
 - Availability
 - Cost-effective
 - Speedy
 - Familiarity with procedures and judgements
 - Use of local languages
 - Conducive to resolution
 - Traditional legitimacy

<http://www.worldbank.org/ljd/week2017> 20

LJD LAW JUSTICE and DEVELOPMENT WORLD BANK GROUP

Traditional Dispute Resolution System in Timor-Leste

- ✓ Issues in traditional justice (in particular for women)
 - Women are not allowed to be involved in procedures and decision-making
 - Judgement based on traditional gender concepts and practices
 - Irrationality in procedures and judgments
 - Issues in criminal cases (ex. domestic violence)

<http://www.worldbank.org/ljd/week2017> 21

LJD LAW JUSTICE and DEVELOPMENT WORLD BANK GROUP

Legal Technical Assistance of Japan to Timor-Leste

- MOJ of Japan has provided assistance since 2008 with a focus on strengthening legislative-capacity in accordance with requests from the government of Timor-Leste
- MOJ of Timor-Leste as counterpart
- Assistance in drafting individual laws, including the Law of Extradition, Drug Crime Control Law, Juvenile Justice Law, Mediation Law, etc.

<http://www.worldbank.org/ljd/week2017> 22

LJD LAW JUSTICE and DEVELOPMENT WORLD BANK GROUP

Legal Technical Assistance of Japan to Timor-Leste

- Characteristics
 - Jointly explore laws and systems most appropriate for the situation in Timor-Leste, through dialogue with legal drafters.
 - Focus on capacity-building to encourage the recipient government to take the initiative in establishing, operating and improving their own systems.
 - Use their own language for mutual understanding
 - Discuss with relevant players including local authorities and civil societies in order to more fully comprehend the actual situation on the ground.

<http://www.worldbank.org/ljd/week2017> 23

LJD LAW JUSTICE and DEVELOPMENT WORLD BANK GROUP

Legal Technical Assistance of Japan to Timor-Leste



Local seminar



Discussion with MOJ

<http://www.worldbank.org/ljd/week2017> 24

LJD LAW JUSTICE and DEVELOPMENT WORLD BANK GROUP

Legal Technical Assistance of Japan to Timor-Leste

- Discussion with NGO



- Discussion with local authority

<http://www.worldbank.org/ljd/week2017> 25

LJD LAW JUSTICE and DEVELOPMENT WORLD BANK GROUP

Legal Technical Assistance of Japan to Timor-Leste

- Support for drafting mediation law and relevant law since 2009
- Provide advice on draft law prepared by MOJ of Timor-Leste
- Upon understanding of actual situation, examine appropriate measures in line of international standards
- Provide optional legal thoughts on the basis of Japanese experience
- Examine informal justice system, along with development of formal justice system
- Steady assistance through joint-work for establishment of deep-rooted legal system in society as a whole

<http://www.worldbank.org/ljd/week2017> 26

LJD LAW JUSTICE and DEVELOPMENT WORLD BANK GROUP

My comments

- Try to harmonize modernization and tradition in establishing laws and systems
- Respect politics, society and culture of the country
- Listen to opinions of various relevant parties
- Assist capacity-building to encourage the recipient country to take the initiative in establishing, operating or improving its own systems

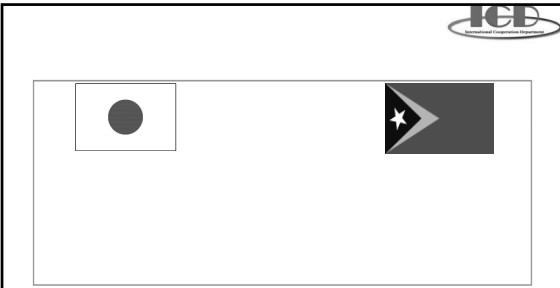
<http://www.worldbank.org/ljd/week2017> 27

LJD LAW JUSTICE and DEVELOPMENT WORLD BANK GROUP

My comments

- Expect to improve gender issues in dispute resolution in Timor-Leste, self-actively, and steadily
- Since Timor-Leste is still at the stage of nation building, and there is feasibility to realize, now, cooperate together

<http://www.worldbank.org/ljd/week2017> 28



- International Cooperation Department
 - Research and Training Institute
 - Ministry of Justice of Japan
- International Justice Center of Japan
 - 2-1-18, Mokusei-no-Mori, Akishima-shi, Tokyo, 196-8570
 - Phone: +81-42-500-5150 Fax: +81-42-500-5195
 - E-mail: icdmj@i.moj.go.jp



Gender Equality and Dispute Resolution System in Timor-Leste and Legal Technical Assistance by Japan

Hironichi Onishi

LJD LAW JUSTICE and DEVELOPMENT WORLD BANK GROUP